

コロナのことはじめ、様々なことがあった1学期ですが、今日で締めくくりです。みんな本当によく頑張りました、身延中の素晴らしさを実感した1学期でした。お疲れ様でした。県内で1000人を超える感染者数は衝撃ですが、私たちはやるべき対策を徹底するだけです。状況が変わるときは伝えますが、まずは県総体やコンクールに向けて万全の対策で取り組みましょう。

昨日配られたPTA新聞に「ひび割れた壺」の話を書きました。ひびの入った壺が水を運ぶという仕事をちゃんと果たせないと嘆いたとき、ずっとその壺で水を運んでいた人足が、壺から水が漏れた道に種をまいてくれていて、それがこんなきれいな花として咲いているといったようなお話です。あるがままのあなたが大切なんだよ、ダメだなと思うようなことも見方を変えれば大切なものでもあるよということです。

先日、町の愛育の方がマスクを届けに来てくれたときに、身延中の子どもたちがとっても気持ちいいですよと言って、あいさつのお話をしてくれました。声をかけると明るくあいさつを返してくれて、最近では車に乗っていても姿を見つけてあいさつしてくれるんです。こちらまで元気になります、と嬉しそうに話してくれました。

臨時休校で野球部の出場がどうなるかといったとき、修学旅行を延期して様々な感染症対策の上で実施するとき、町からは費用の支援とともに、判断の後押しをしてもらいました。これから行われるコンクールや県総体についても様々な配慮し、応援してくれています。

地域の人がみんなのために関わってくれる、町が子どもたちの教育のために様々な支援をしてくれる、それは身延中にとって大きな力です。でも、そうしてくれるのも素直で前向きに頑張るあなたたち生徒がいて、そしてその生徒のために全力を尽くしてくれる先生たちがいるからです。まさにそれこそが身延中の最も大きな財産です。生徒にも先生にもちょっとずつひび割れがあって、完璧な人はいません。でも、そういったものすべて含めて身延中の大切な宝です。いろんな凸凹があっても、組み合わせさって一丸となって進んだときのチーム身延中の力は本当に計り知れないものです。

さて、明日からは夏休みです。やっぱりなんかワクワクするし、楽しみだよ。もちろん、休んだり、遊んだり、今までできなかったことやってみたり、十分楽しんでください。でも、自分自身を成長させる大事な休みでもあります。みんなが今勉強したり、活動したり、練習したりしていることは、もしかしたらすぐ見えるような結果に結びつかないかもしれませんが。こんなことやっているとどうなるのかという気持ちもあるかもしれません。ひび割れ壺のように、頑張ろうと思っているのに思うようにいかないこともあります。でもそうやって努力し、学び、苦しみ、得たことはいずれあなたたちの大きな力となり、人生をきっと豊かにしてくれます。そして、それを共にした仲間や先生たちとは、ずっとつながっていける関係にもなります。

先日の修学旅行を終えて、充実感でいっぱいでした。いろいろ厳しい状況の中で、無事終わられた安堵感もあるけど、それ以上に3年生がどんどん成長していく様を見ることができたからです。自立を目指して、自分自身の思いで、言葉で語り、行動する3年生は立派でした。明るく仲間を大切にしている姿もあつたかい気持ちになりました。やっぱり3年生だとこれからも楽しみになります。人は4日間でも変わっていけるんだよね。明日からは32日間もあります。過ごし方次第でどうにでも変えることができるはず。2学期のあなたたちの成長した姿を期待しています。